

本資料及び資料に含まれる第三者著作物を再使用する場合、
利用者は、それぞれの著作権者より使用許諾を得なくてはなりません。

In-Class Work Sheet 08 言葉を科学する：人間の再発見（思索と言語）

列番号 学生番号 _____ 名前（よみがな） _____

Class Work 8-1：自分の母語を客体化しよう

日本語を学習中のイギリス人 A さんが、以下のように言って嘆いています。

日本語では、どうしてモノを数えるときに複雑なやりかたをするの？本は「1 冊 2 冊」、家は「1 軒 2 軒」、車は「1 台 2 台」、服は「1 着 2 着」。犬は「1 匹 2 匹」なのに、象は「1 頭 2 頭」なんだって。皿は「1 枚 2 枚」で、ビンは「1 本 2 本」。細長いものを「～本」と数えるんだよ、とある日本人の友達が教えてくれたけど、このあいだ、映画も「1 本 2 本」だって聞いて、もうわけがわからなくなったり。発音も大変。猫は 5 「ヒキ」、2 「ヒキ」かと思ったら、1 「ピキ」、6 「ピキ」という時もあるんだって。しかも、3 「ビキ」ということもある。全部「1 こ」「2 こ」にすればいいのに。数を数えるだけなのに、どうしてわざわざこんなに複雑なことをするんだろう。日本人の頭は特殊なんだろうか？ もういや！

A さんの日本語学習をどうやって励ましますか？ できるだけ具体的に、勇気づけてあげて！

Post-class worksheet

今日の授業のポイントは？ 今日の授業で何を学んだか？ 何を考えるきっかけになったか？
(ここに書くのは、みなさんの創造的「作品」です。自分がどのように理解したかを丁寧に書いて。ハンドアウトの項目をただ写すだけにはしない)

今日の授業全般に関してのコメント・質問（裏面を使って）